



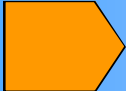
2021年3月期 第3四半期 決算補足資料

証券コード:6908

2021年2月2日

イリソ電子工業株式会社



-  **I . 2021.3期 第3四半期連結決算概要**
- II . 2021.3期 連結決算見通し**
- III . トピックス**

1. 2021年3月期第3四半期 業績のポイント



新型コロナウイルス影響で前年同期比マイナスも、第1四半期を底として回復

- **売上**：
 - ・第3四半期累計では、第1四半期での新型コロナウイルス感染拡大による、世界的な生産活動停止や販売の低迷の影響を受け、かつドルと元の円高の影響もあり、車載市場を中心に前年同期比で減少
 - ・四半期別では、第1四半期を底として急回復。第3四半期単独の売上高は10,851百万円で、**為替レートを同一とした場合、四半期での当社史上最高値を記録**
 - 市場別では車載市場のセーフティ分野とパワートレイン分野が、地域別では中華・韓国圏が四半期での過去最高売上
 - ・注力しているセーフティ分野とパワートレイン分野の売上構成比が26.2%へ成長。**特にパワートレイン分野は、欧州や中国で環境対応車への購入補助金の増額や継続施策などもあり、前年同期比約65%増と好調を維持**
 - ・コンシューマー市場はコロナ禍による巣ごもり需要により、テレビ向け、ゲーム機向けが好調
- **営業利益**：売上減少に伴う操業度低下や金価格の高騰、8月からの急激な需要増に伴う在庫の減少などの影響があったものの、原価低減活動と徹底した支出削減により、**第3四半期単独の営業利益率は14.4%で2桁台に回復**

【トピックス】

・社長交代のお知らせ

2021年4月1日より、由木 幾夫に代わり現専務取締役の鈴木 仁が社長に就任予定です。長年にわたる技術やマーケティングの経験を活かし、「顧客価値を創造する100年企業」及び中期経営計画の実現のため、引き続き新体制のもとでも邁進して参ります。



■主要各国の電動化関連政策(2020年)

国(都市)	購入補助 (最大)	乗り入れ規制	ガソリン車禁止 規制開始年
中国	2.5万元 ※2020年廃止予定から 2022年まで延長	検討中	2035年
イギリス	£3,000	○	2030年
フランス	€7,000 ※2020年に増額	○	2040年
ドイツ	€9,000 ※2020年に増額	○	2030年
アメリカ(CA州)	\$4,500	○	2035年
日本	40万円	—	2030年半ば (検討中)
日本(東京)	—	—	2035年

■販売台数トピックス(2020年)

中国で前年比10.9%増の136万台、欧州は補助金増額もあり中国を上回る台数へ急増

2. 2021年3月期第3四半期連結業績(前年同期比)



単位:百万円

	20.3期 第3四半期 累計	21.3期 第3四半期 累計	前年同期比
売上高	30,002	25,920	△4,082 86.4%
営業利益	3,630 (12.1%)	1,739 (6.7%)	△1,891 47.9%
経常利益	3,690 (12.3%)	1,580 (5.4%)	△2,110 42.8%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	2,750 (9.2%)	1,104 (4.3%)	△1,646 40.2%
EPS	116.72円	46.87円	
為替レート 期中平均	ドル 109.09円 ユーロ 121.45円 元 15.70円	105.87円 122.30円 15.38円	△3.22円 0.85円 △0.32円

3. 売上高詳細(市場別)



単位:百万円

		21.3期 第3四半期累計	前年同期比	構成	増減要因
オートモーティブ(車載)		21,020	82.2%	81.1%	<ul style="list-style-type: none"> ・車載市場全体の3Q売上は1Q比100%増、2Q比20%増と回復が鮮明に ・セーフティ分野とパワートレイン分野は3Qの売上が過去最高 ・特にパワートレイン分野は欧州と中国を中心に好調。3Q累計で前年同期比65%増加
区分	エンターテインメント	10,888	75.2%	42.0%	
	セーフティ	4,764	86.6%	18.4%	
	パワートレイン	2,015	164.2%	7.8%	
	その他	3,352	77.2%	12.9%	
コンシューマー (OA、ゲーム機、デジカメ、携帯電話、TVなど)		3,152	109.9%	12.2%	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ向け、ゲーム機向けが、コロナ禍による巣ごもり需要に増加
インダストリアル (産業機器など)		1,747	110.8%	6.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・中国向けのFA関連機器の需要増により増加
合計		25,920	86.4%	100.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・海外比率76.9%



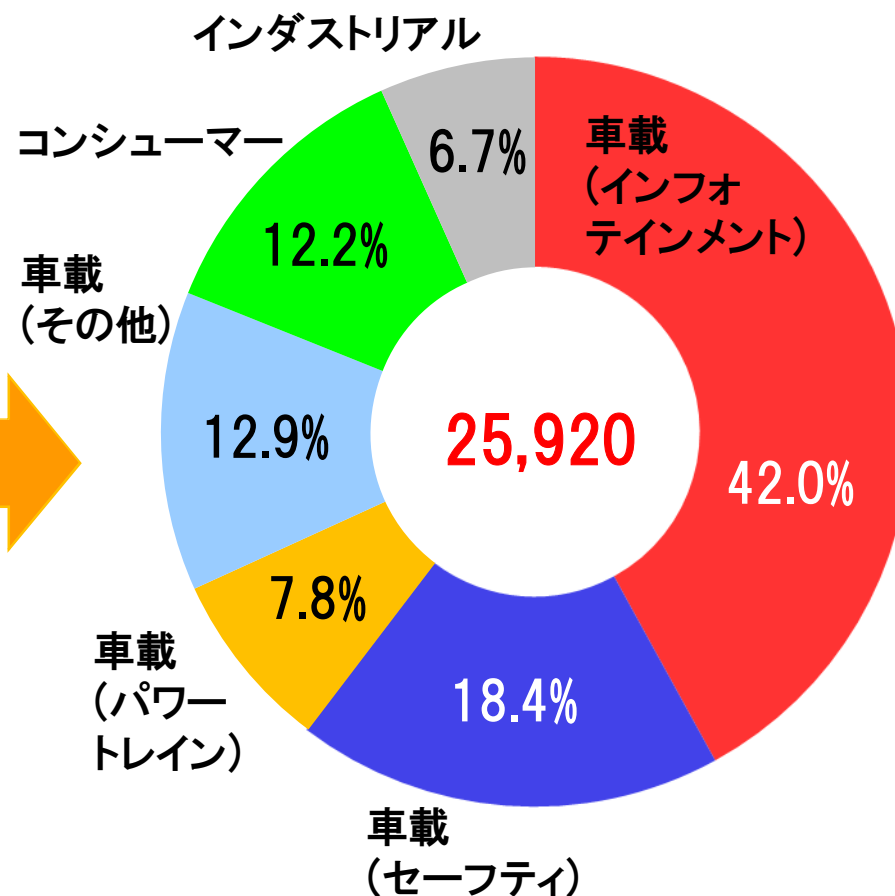
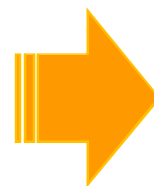
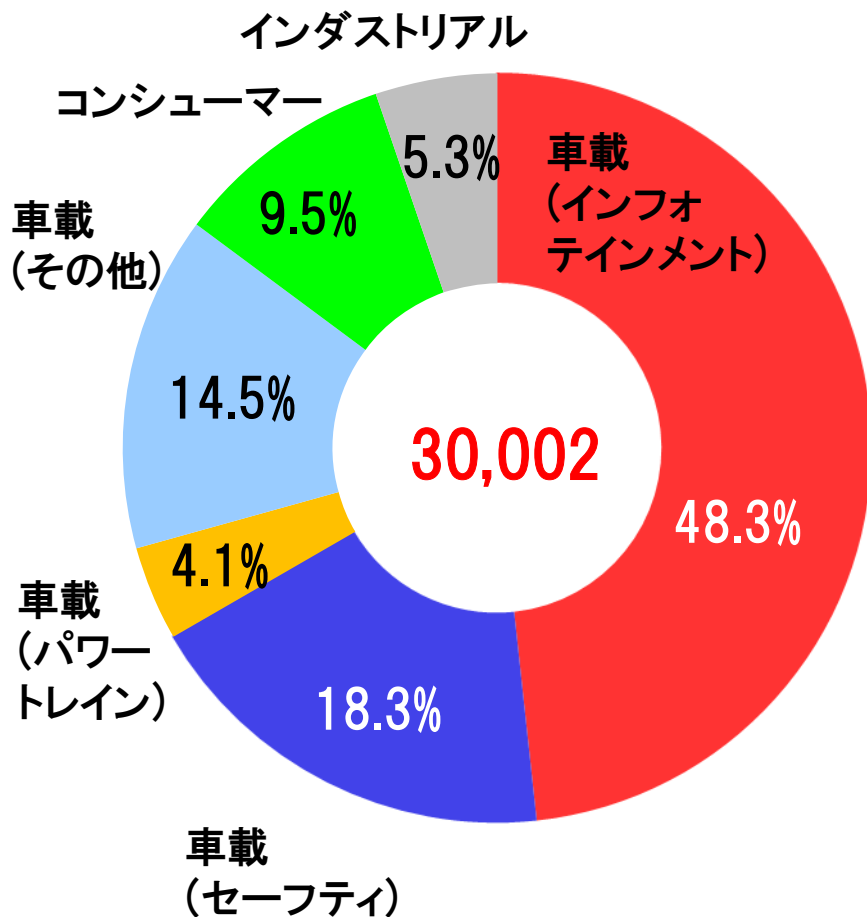
4. 市場別売上高構成比推移(前年同期比)



単位:百万円

20.3期第3四半期 累計

21.3期第3四半期 累計

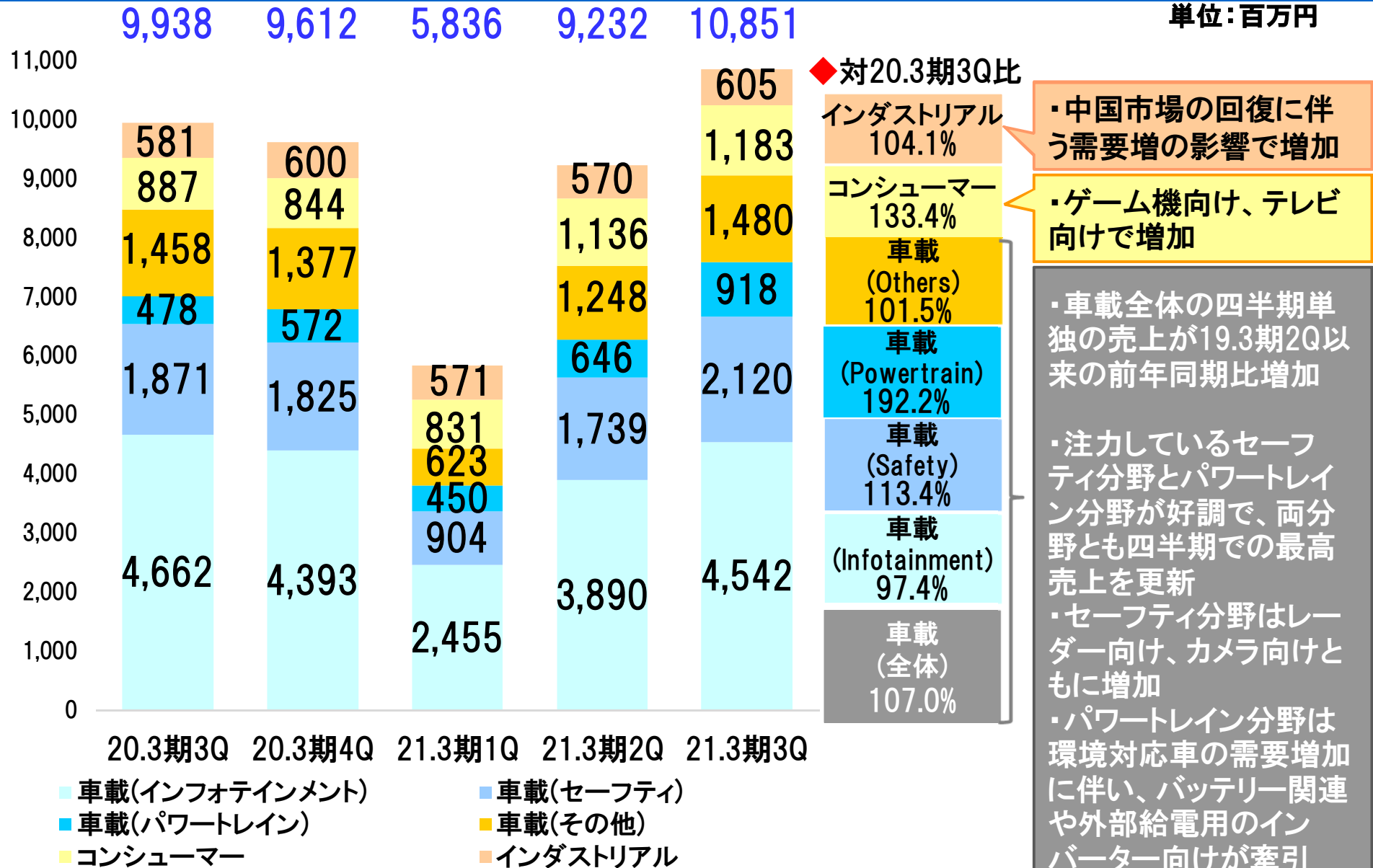




5. 市場別売上高(四半期推移)



単位:百万円

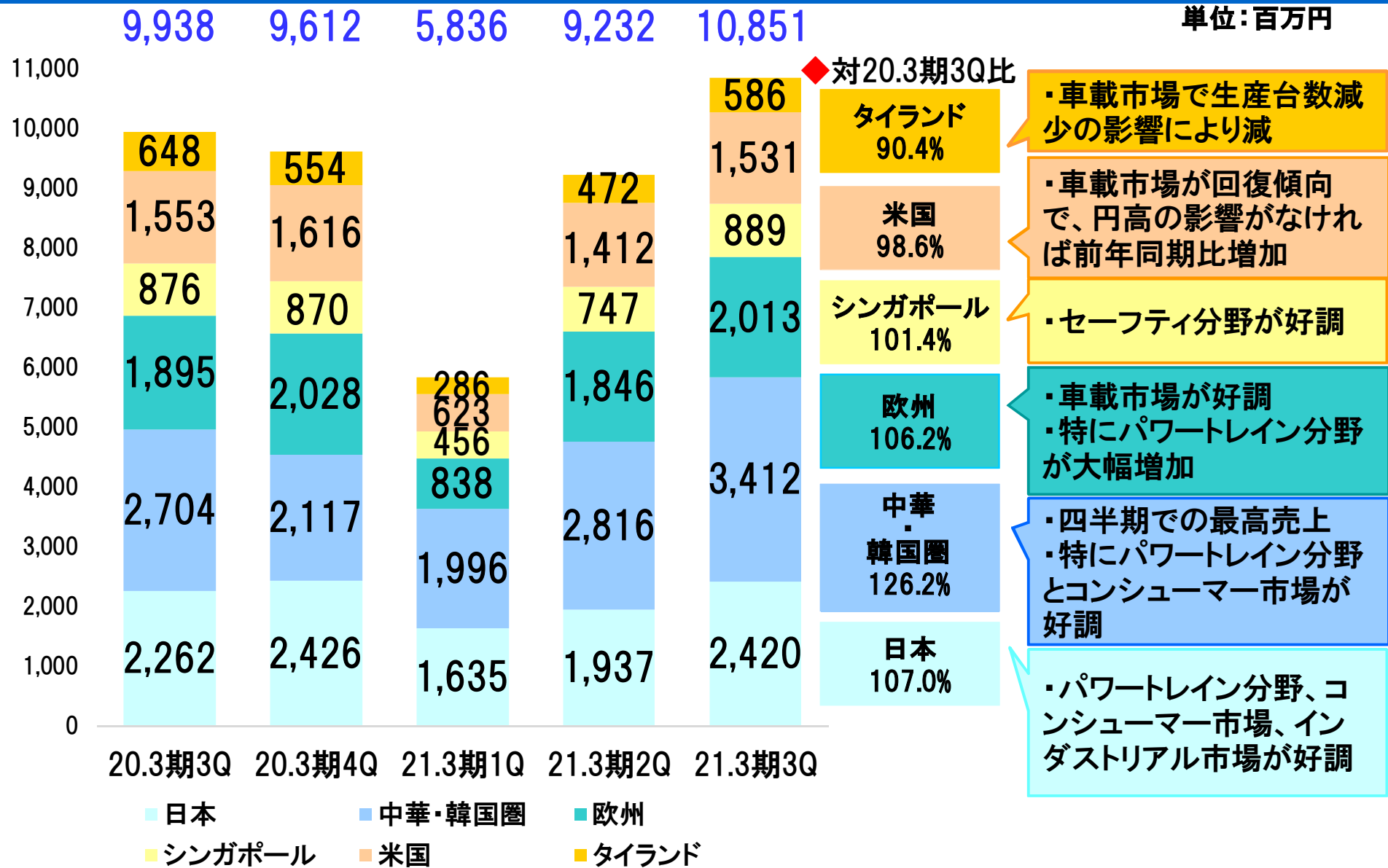




6. 地域別売上高(四半期推移)



単位:百万円

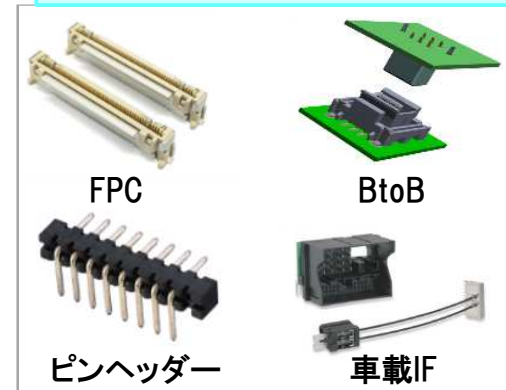
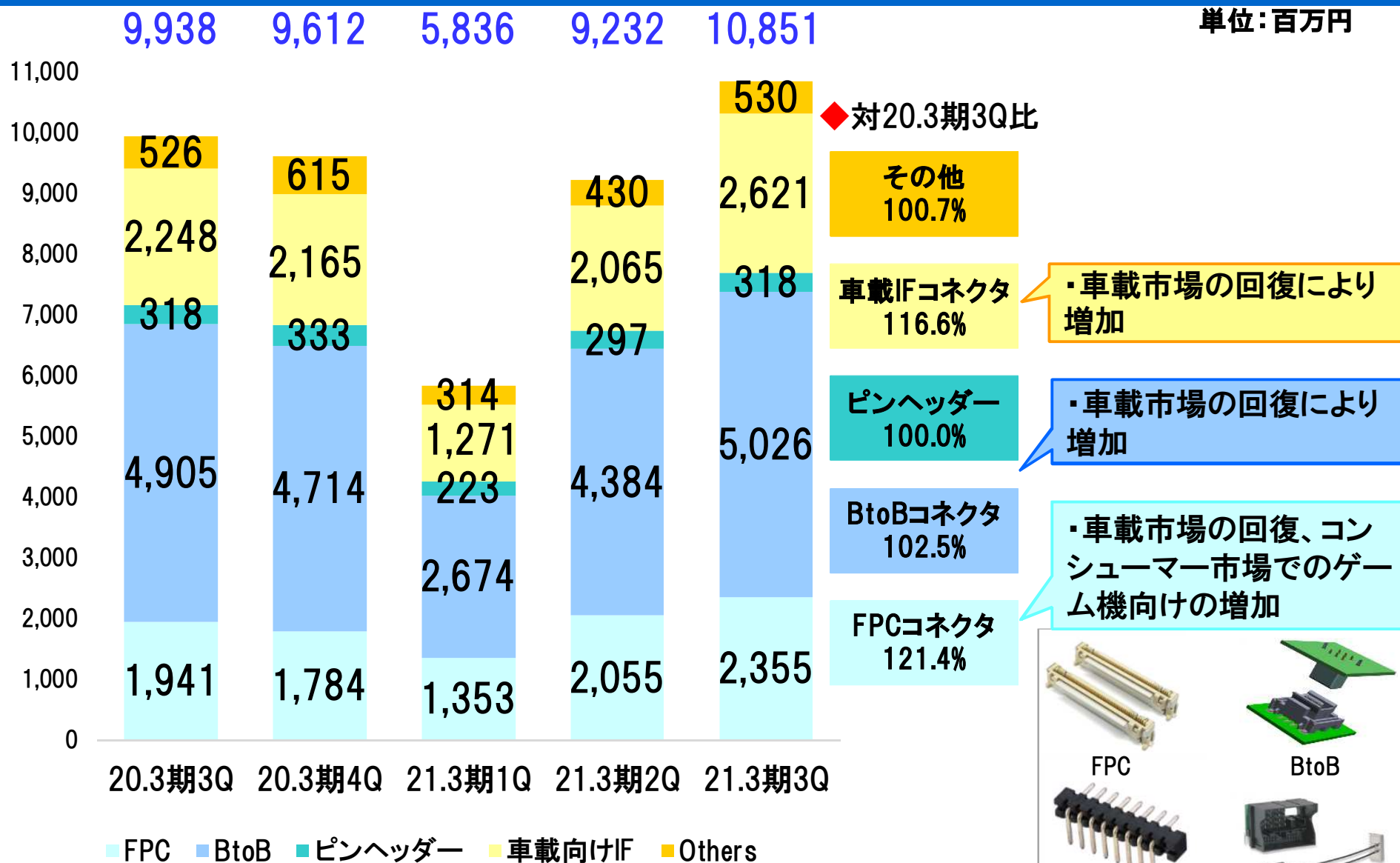




7. 製品別売上高(四半期推移)



単位：百万円



8. 損益計算書(連結)(前年同期比)



単位:百万円

	20.3期 第3四半期累計		21.3期 第3四半期累計		前年同期比	
売上高	30,002	100.0%	25,920	100.0%	△4,082	86.4%
売上原価	20,023	66.7%	18,303	70.6%	△1,720	91.4%
売上総利益	9,978	33.3%	7,617	29.4%	△2,361	76.3%
販売管理費	6,348	21.2%	5,877	22.7%	△470	92.6%
営業利益	3,630	12.1%	1,739	6.7%	△1,891	47.9%
営業外収益	109	0.4%	133	0.5%	24	122.2%
営業外費用	49	0.2%	293	1.1%	243	587.2%
経常利益	3,690	12.3%	1,580	6.1%	△2,110	42.8%
特別損益	△94	△0.3%	△85	△0.3%	8	90.6%
税前利益	3,595	12.0%	1,494	5.8%	△2,101	41.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,750	9.2%	1,104	4.3%	△1,646	40.2%
E P S	116.72円		46.87円		-	
為替レート (ドル/ユーロ/円)	109.09円/ 121.45円/15.70円		105.87円/ 122.30円/15.38円		△3.22円/ 0.85円/△0.32円	



9. 貸借対照表(連結)(前期末比)



単位:百万円

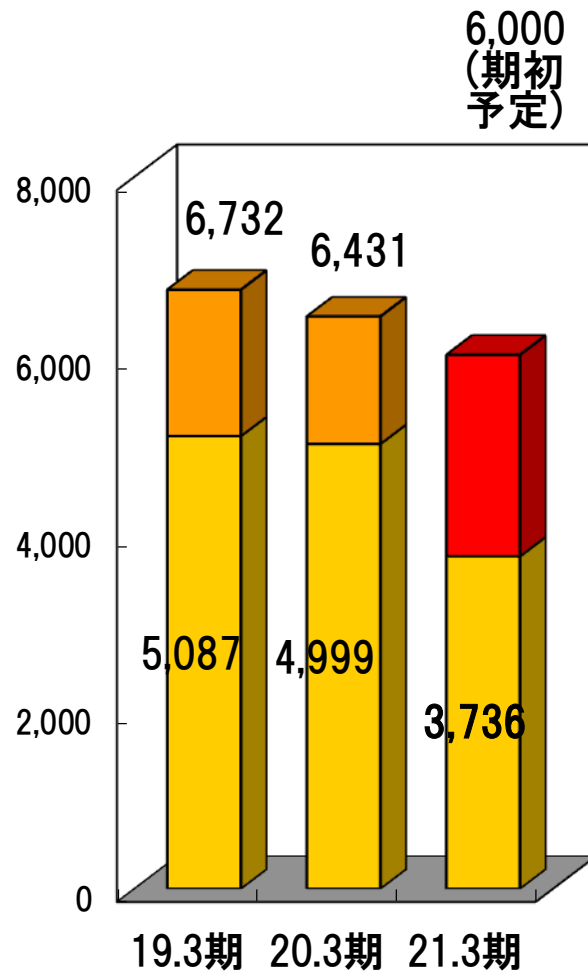
	20.3期		21.3期 第3四半期		前期末比	要因
流動資産	32,395	53.4%	32,378	54.0%	△16	受取手形及び売掛金577 現金及び預金△987
固定資産	28,242	46.6%	27,625	46.0%	△617	有形固定資産△680
資産合計	60,638	100.0%	60,003	100.0%	△634	
流動負債	7,928	13.1%	7,245	12.1%	△682	支払手形及び買掛金△313 未払金△992
固定負債	1,190	2.0%	1,255	2.1%	65	
負債合計	9,118	15.0%	8,501	14.2%	△616	
株主資本	51,217	84.5%	51,145	85.2%	△72	利益剰余金1,104 配当△1,183
その他の 包括利益累計額	△15	- %	△13	0.0%	2	
非支配株主持分	317	0.5%	369	0.6%	52	
純資産合計	51,519	85.0%	51,501	85.8%	△17	1株純資産 2169.68 円 (前期末 2,172.66円)
負債・純資産 合計	60,638	100.0%	60,003	100.0%	△634	



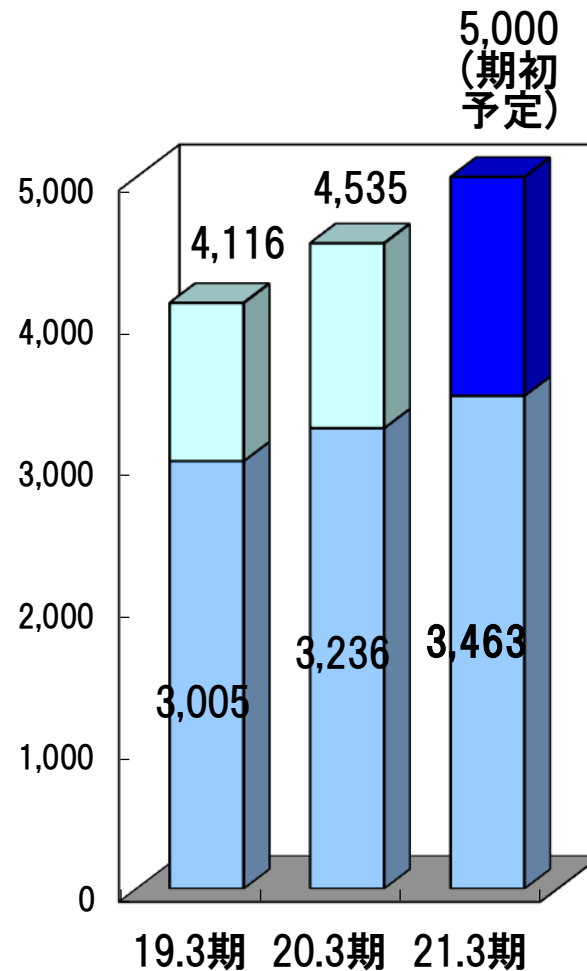
10. 設備投資・減価償却・研究開発



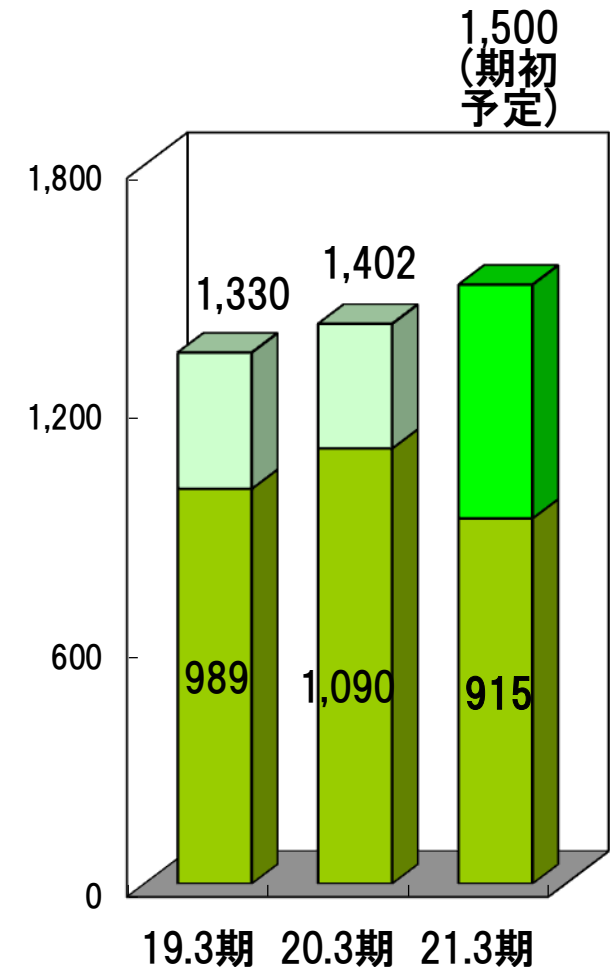
単位：百万円



設備投資



減価償却



研究開発

注：各グラフの数値は、下段に第3四半期累計の実績、上位に通期での実績(21.3期は予定)を記載



I . 2021.3期 第3四半期連結決算概要

 II . 2021.3期 連結決算見通し

III . トピックス

1. 2021年3月期 計画(再上方修正)



単位:百万円

- ・世界的に新型コロナウイルス感染の再拡大懸念で予断を許さないものの、当初想定より市場が急速に回復しており、再度上方修正いたします。
- ・徹底した原価低減とコスト削減により、営業利益率10%以上を追求します。
- ・配当予想も1株当たり40円から50円に上方修正します。

	20.3期 実績	21.3期 期初計画	21.3期 2Q時 修正計画	21.3期 今回 修正計画
売上高	39,614	34,000	34,500	36,000
営業利益	4,628 (11.7%)	1,400 (4.1%)	2,700 (7.8%)	3,250 (9.0%)
経常利益	4,668 (11.8%)	1,400 (4.1%)	2,600 (7.5%)	3,050 (8.5%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	3,287 (8.3%)	1,100 (3.2%)	1,800 (5.2%)	2,200 (6.1%)
EPS	139.49円	46.68円	76.38円	93.35円
為替	ドル109.10円 ユーロ121.13円 元 15.66円	ドル108.00円 ユーロ120.00円 元 15.80円	ドル108.00円 ユーロ120.00円 元 15.80円	ドル105.50円 ユーロ123.01円 元 15.47円
配当	50円	40円	40円	50円



I . 2021.3期 第3四半期連結決算概要

II . 2021.3期 連結決算見通し

 III . トピックス

2021年4月1日より新社長が就任します



新社長：鈴木 仁 (すずき ひとし)

■主な略歴

- 1966年生まれ 静岡県出身
- 1989年 当社入社
- 2006年 執行役員技術部長
- 2012年 執行役員営業本部本社営業統括部
オートモーティブ営業部長
- 2014年 取締役執行役員技術本部長
兼オートモーティブ事業担当
- 2019年 取締役専務執行役員技術本部長
兼オートモーティブ事業担当
- 2020年 取締役専務執行役員営業統括本部
グローバルプロジェクトリーダー
兼IRISO ELECTRONICS PHILIPPINES, INC.
Managing Director(現任)

■趣味：ペット(柴犬)と遊ぶこと、ゴルフ、園芸

- ・技術出身で、営業としてもイリソの車載事業のグローバルでの成長を牽引。
- ・イリソの今後の成長の鍵としている車載PA25領域や5G、ロボットといった伸長分野への社内プロジェクトのリーダーを務め、中長期の計画策定に携わる。
- マネジメント体制を次世代に移行し、成長計画と当社のモットーである「顧客価値を創造する100年企業」の実現へ推進して参ります。

注：PA25：安全系、パワートレイン系、モーター、インフォテインメント、2輪の5アプリケーション



2. トピックス：電動化対応への成果と今後



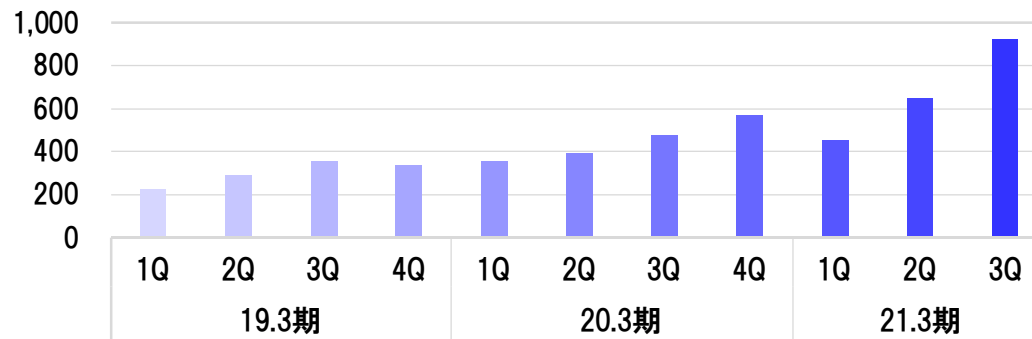
単位：百万円

■ 電動化の動きの加速による成果

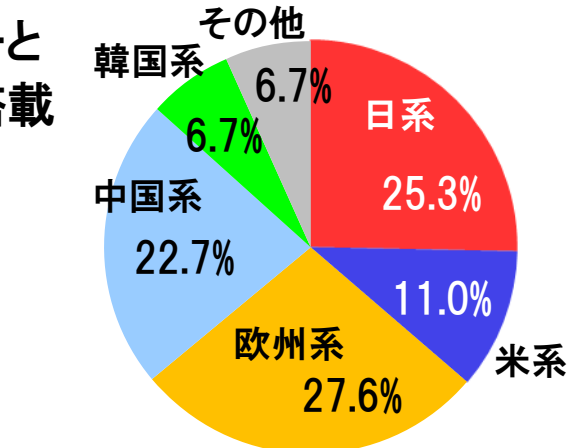
環境規制強化の流れが加速しており、自動車の電動化は欧州や中国を中心に拡大中。

→ イリソの売上も増加中で、21.3期の第3四半期累計の売上構成比は7.8%へ。

- ・既に日本だけでなくグローバルでパワートレイン機器メーカーと取引があり、最終的に約40社の自動車メーカーの電動車に搭載



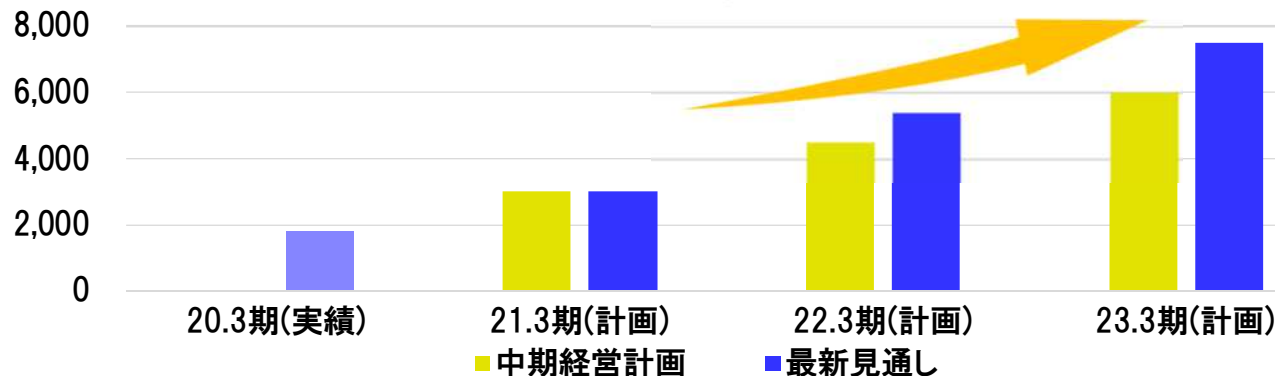
パワートレイン分野四半期別売上推移



21.3期3Q累計パワートレイン分野自動車メーカー別搭載先売上比率

■ 今後

想定以上の案件があり、2020年8月策定の中期経営計画の売上を上回る見通し



23.3期売上計画

- ・ 中期経営計画：60億円
- ・ 最新見通し：75億円
- +15億円

会 社 名	：	イリソ電子工業株式会社
事 業 内 容	：	各種コネクタの製造・販売
設 立 年 月	：	1966年12月
社 員 数	：	3,370名(2020年3月31日現在)
資 本 金	：	5,640百万円(2020年3月31日現在)
本 社	：	神奈川県横浜市港北区新横浜2-13-8
営 業 拠 点	：	
国 内		本社、福島県、茨城県、愛知県、大阪府
海 外		シンガポール、香港、アメリカ、ドイツ、タイ、韓国 中国（上海、大連、天津、蘇州、深圳、重慶）、マレーシア、 台湾、インド
研 究 開 発	：	本社(イリソテクノロジーパーク)、 川崎(生産技術センター)、上海R&Dセンター
工 場	：	茨城県、中国(上海、南通)、フィリピン(マニラ)、 ベトナム(ハイズオン)

コネクタの種類

基板対基板コネクタ (BtoBコネクタ)

プリント基板の接続用に開発されたコネクタの総称でボード・ツー・ボードコネクタ(ボードtoボードコネクタ)とも呼ばれる。垂直接続、平行(スタッキング)接続、水平接続など組み合わせで、さまざまな接続が可能となる。B to B (ビー・ツー・ビー)は、当社の登録商標として市場で広く浸透している。

FPC/FFCコネクタ

FPC基板(Flexible printed circuits)やFFCケーブル(Flexible flat cable)の接続用に開発されたコネクタの総称。コネクタの挿入時に力を加えずにロック可能なZIF(Zero insertion Force)タイプ、挿入したときに力が発生するNON-ZIFタイプがある。

I/Fコネクタ

I/Fとは、インターフェイスの略で、機器間の信号の接続を行うコネクタのことで、I/O(インプット/アウトプット)コネクタとも呼ばれる。カーナビ、PCなどさまざまな機器の側面(裏・表面)に装着され、機器への電源供給、音声・映像信号データなどの入出力を行う。

ピンヘッダー

線材をカット加工した“ピン(電導体)”をハウジング(樹脂材でできた絶縁体)で支えたプラグ(オス側)コネクタの基本形であり、さまざまな分野・機器の内部接続(基板間接続)に使用されている。横から見ると、生け花の花止め“けんざん”のように見えるのが特長。メス側はソケットと呼ばれる。

この資料に記載されております業績の予想数値につきましては、本資料の発表日現在で得られた入手可能な資料に基づいて作成したものであり、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみに依拠してご判断されることはお控え下さるようお願いいたします。

なお、本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。